

洞爺湖芸術館 開館 10 周年記念

特別文学企画



アートギャラリー北海道

朗読音楽会

ロバのおうじ

朗読
兔 ゆう

リユート演奏 & 演出
永田 斉子



2018. 11.10 (土) 午後 2 時～ (開場 1 時半)

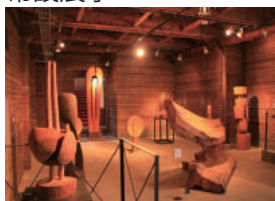
【開催場所】洞爺湖芸術館 2 階

【参加料】観覧料でご覧いただけます。(一般 300 円、高校生 200 円、小中学生 100 円) ※洞爺湖町民無料

【定員】50 名

【要予約】洞爺湖芸術館 0142-87-2525 までお電話ください。

常設展示



砂澤ビッキ彫刻作品

開催中



コレクション企画
「私の好きな作品展」

【主催】洞爺湖芸術館 【共催】洞爺湖町

【協力】洞爺観光ホテル・(株)高橋建設・洞爺温泉病院・伝建設(株)・伊達信用金庫・高清水建設(株)・乃の風リゾート・幸清会・(有)エフビースシステム・(株)ゴウダ・ひかり薬局・ケアライフ(株)・セブン-イレブン洞爺湖温泉店



洞爺湖芸術館

TOYAKO MUSEUM OF ART

〒049-5802 虻田郡洞爺湖町洞爺町 96

TEL & FAX 0142-87-2525

<http://www.geijutukan.net>

朗読音楽会 「ロバのおうじ」

グリム童話原作のベストセラー絵本『ロバのおうじ』。

表現豊かな朗読、限りなく優しい古楽器リュートの音色、そして繊細な挿絵の投影が、皆様をより深い物語の世界へと誘います。



目と耳で堪能する文学!

「ロバのおうじ」のあらすじ

平和な国を治める王と王妃の唯一の悩みは、子どもがいないこと。

そこで魔法使いに頼んで子どもを得たものの、魔法使いに約束通りの金貨を渡さなかったため、王子はロバの姿で生まれてきました。その姿ゆえ両親から愛してもらえない王子は、真実の愛を求めて、得意な楽器リュートをたずさえて旅にでます。

書籍情報：「ロバのおうじ」

原作／グリム兄弟、再話／M. ジーン・クレイグ、絵／バーバラ・クーニー、訳／もきかずこ

発行／株式会社ほるぷ出版

定価／本体 1350 円（＋消費税）

永田 斉子 ながた せいこ

長崎県生まれ、東京都在住。リュート奏者、月琴奏者、コンサートプロデューサー。国際基督教大学卒業、フランス国立ストラスブール音楽院古楽科を演奏家ディプロムを得て修了。ソロ、アンサンブルで演奏活動を行う他、朗読＋リュートの生演奏＋挿絵の投影という独自のスタイルで朗読音楽会「ロバのおうじ」を連続公演中。すでに50回以上の公演を重ねている。映画「耳をすませば」(スタジオ・ジブリ)、「カムイ外伝」(松竹)等のために録音および演奏シーンの演技指導を行った。CD「ふらんすの恋歌」(レコード芸術誌準推薦盤/完売)、2016年にはCD「月琴 MOON LUTE～お龍が奏でた楽器、龍馬が聴いた音楽」を発表。サロンコンサートを企画・運営するルミエールプロジェを主宰。

公式サイト seikonagata.com



兎 ゆう うさぎ ゆう



札幌市在住。京都造形芸術大学芸術学部卒業。朗読家。(一社)日本朗読検定協会認定プロフェッサー・一級朗読インストラクター・読み聞かせインストラクター(プラチナ)。絵本セラピスト協会認定絵本セラピスト®。国際芸術連盟第3回JILA朗読コンクール<詩部門>第3位。日本朗読協会第3回朗読だいすきコンクール本選出場。「夏目漱石没後100年記念漱石と賢治を読もう!かなでる×かたる」(東京)、「第3回JILA朗読コンクール入賞・入選記念朗読の祭典」(東京)、「朗読音楽会 月琴で綴る龍馬の手紙」(札幌)等、北海道内外のイベントに多数出演。札幌市内にある詩人・谷川俊太郎氏公認のカフェ「俊カフェ」で、谷川氏の作品を中心とした朗読や解説を行う「絵本と詩の朗読会」を毎月開催している。



洞爺湖芸術館
までのアクセス

バス：札幌駅バスターミナルより洞爺湖温泉行き
「洞爺水の駅」下車 徒歩3分

車：札幌から230号線 約2時間
室蘭から37号線 約1時間20分

